

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

品質の高いコンクリートを提供し、従業員を含めた地域社会全体が満足できる、持続的開発可能な企業を目指す。(令和6年度改正の会社経営方針)
具体的な姿としては、低燃費車への転換やフライアッシュコンクリート/スラッジ水採用コンクリートの普及によりCO2排出量を低減する取り組みについて、社を挙げて推進する。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時にに向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	熊本大学等と共同研究した製紙スラッジ灰の活用による残コン処理技術を実用化し、業界としての社会問題の解決をはかる	残コン処理としての販売実績 2023年:0件→2026年:3件
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	低炭素コンクリート技術(フライアッシュコンクリート、高炉スラグ系低炭素コンクリート)の普及をはかる	低炭素コンクリート技術の採用 2023年:0件→2026年:1件
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢/国籍/性別を問わない中途採用の実施と氷河期世代(S50-60生)の積極採用を図る	年間採用人数 2023年:1名→2026年:2名

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時にに向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)**更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

建設資材として重要な生コンクリート製造業者である自社と、建設業者、インフラ利用者(市民)との間に信頼関係を構築し、従業員一人ひとりが仕事に誇りを持てるよう職場環境の整備を図る

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	全ミキサー車を低燃費・現行排ガス規制対応車に転換し、CO2排出低減かつ環境負荷低減する。	2023年までに全18台のうち未対応の6台中2台について、新車(対応済)への転換を行う。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2024/9までにH24年以前の排外ガス対応車両を新車に交換するよう、計画的に車両置き換えを実施するも、半導体不足等により新車納入が遅れが発生。	全車両22台中1台、現行排ガス規制対応車に転換できなかった(ただし、24年11月に納車予定)。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	フライアッシュコンクリートを普及に努め、資源循環型社会への転換に貢献する	2023年までに総出荷量の1%以上をフライアッシュコンクリートへ転換する
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	2035年の石炭火力発電全廃の動きに伴い、フライアッシュコンクリートの普及をベンディング	採用なし
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	年齢を問わない中途採用の実施 氷河期世代(S50-60生)の積極採用	2023年までに1人以上
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	採用を実施するも、離職者も発生するため、状況の改善ならず(ただし、離職者が再復帰する例も1例あり)	3名の採用を実施

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。